

津波避難に係るワークショップ

< 課題 : 津波災害警戒区域外への避難について >

1. 設定

- ・主人公は、片瀬山の一軒家で 20 年以上生活している 65 歳の男性。同居は同い年の妻のみで、子は 25 歳の長男が 1 人で北海道在住。
- ・季節は 3 月中旬で時刻は正午。天候は快晴。
- ・被災場所は、小田急江ノ島線の片瀬江ノ島駅改札前の広場。海拔は 4m。妻は自宅で読書中。
- ・家には大きな被害はなく、食器棚から食器が落下した程度。長男は北海道にいたため被害なし。
- ・地震のモデルは、相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル）。震度 7 を観測し、大津波警報が同時に発令される。最大津波到達時間は 12 分後。最大津波高は 10m で津波浸水深は 6m（ハザードマップのとおり）。

【第 1 波は 12 分後（最大）、第 2 波は 30 分後、第 3 波は 1 時間後、警報解除は 3 時間後】

※市職員は大津波警報が発令されたため、津波浸水想定区域内に入れない。職員が参集する場所は指定避難所で、津波警報が解除された発災から 3 時間後。

2. 協議内容

- ・状況に応じて“どうすればより被害や問題を小さくできるか?”という視点で、各項目における行動や対応策を検討してください。
- ・“避難中”では、発災直後～3 時間以内での状況として検討してください。
- ・“発災後”では、3 時間～72 時間が経過するまでの状況として検討してください。
- ・“平常時”では、“避難中”と“発災後”の行動や対策等をふまえて、こういった準備や備えをしたら良いのか? を検討してください。

3. 発表（本日）

- ・5 分以内でお願いします。発表の際には必ず“班名”と“課題”を仰ってから始めてください。

4. その他

- ・今回の内容は、今年度の『防災だより』に掲載する予定です。

以 上